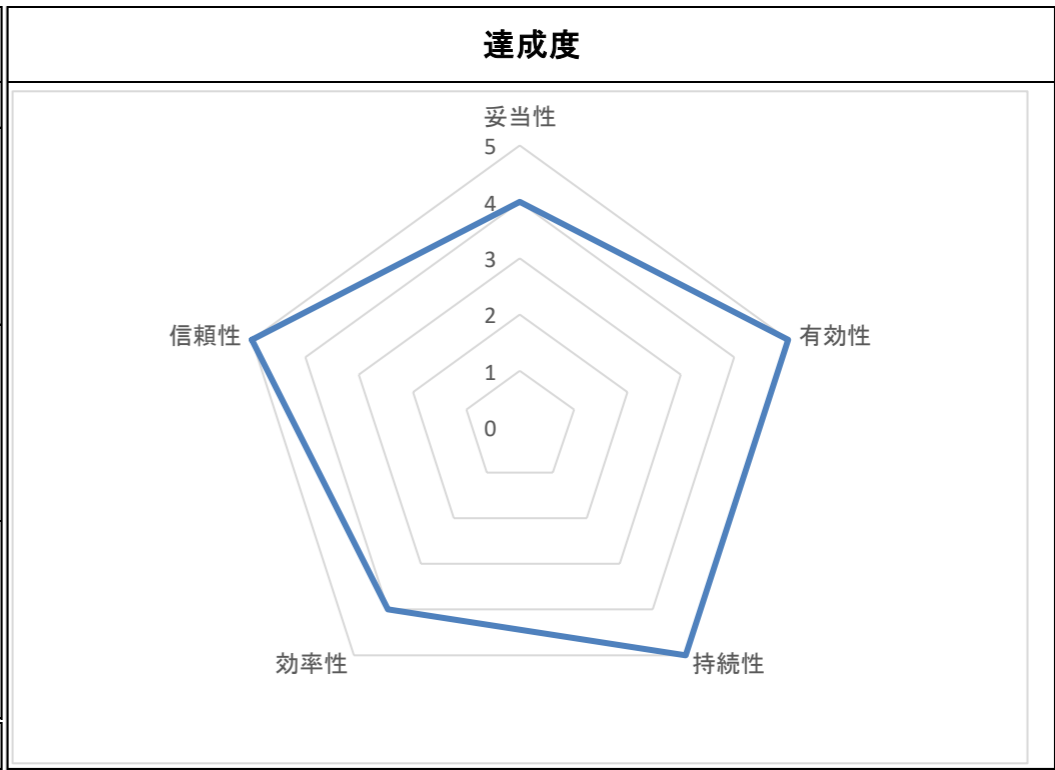


海洋教育パイオニアスクールプログラム 完了時自己評価書

学校名 岐阜市立長良小学校
活動名 令和4年度 「海とつながるわたし～「森・川・海」の繋がりに学ぶ環境推進事業～」
評価者 福地 浩太

評価実施日 2023年2月28日

評価視点毎の評価 (当てはまる項目のBOXにチェックをつけ、必要に応じてコメントを記入してください。)	
【妥当性】 <input checked="" type="checkbox"/> 今回のテーマと目標の設定は有効でしたか？ 【コメント欄】 ○長良川や金華山といった環境に囲まれて育つ児童にとって、「海なし県」である岐阜市がどのように海と繋がっていくのかを考えることのできるテーマであった。 ●学年間の学習内容が段階的系統的につながっていくように共有・連携を進めたい。	【成果】 <input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果は得られましたか？ 【コメント欄】 ○体験活動が実施できたことにより子どもたちにとって感動や驚きといった実感が伴った学びを進めることができた。 ●各学年の繋がりがや探究的な学習活動の一連の過程をより意識していきたい。
<input checked="" type="checkbox"/> 学習内容の分量は適切でしたか？(無理のない目標・計画でしたか？) 【コメント欄】 ○学習内容の分量としては各学年適切であった。 ●体験して終わることがないように、探究的な学習過程をより意識した学習内容へと工夫していく必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 学習目標と本活動との関連性は明確でしたか？ 【コメント欄】 ○学年の発達段階に応じて段階的に、「森・山・海」のつながりを意識した学習を展開することができた。 ●学校全体として学年のつながりを意識した学習を推進していきたい。
<input checked="" type="checkbox"/> 内容は対象児童・生徒のレベルに適切でしたか？ 【コメント欄】 ○今年度学習の流れを再考したことで、発達段階にあった視野で学びを積み上げていくことができた。 ●次学年へのつながりまでを意識して学習内容を工夫改善して行きたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 活動は児童・生徒の海洋への関心を高める契機となりましたか？ 【コメント欄】 ○海は遠いようで、自分たちの生活や周辺の環境とつながっていることや影響を及ぼしていることに気付くことができ、これからの自分たちの生活を見つめ直そうとする児童の姿が生まれた。
【有効性】 <input checked="" type="checkbox"/> 内容は計画通りに実施されましたか？ 【コメント欄】 ○今年度は、各学年で予定していた校外活動を実施することができた。校外活動後は、振り返りやまとめを行い、日記や新聞にまとめることができた。 ●事前事後の学習内容が体験活動とリンクするようにより工夫改善したい。	【持続性】 <input type="checkbox"/> 活動に必要なノウハウ・知見・技術等が教員間で共有されていますか？ 【コメント欄】 ●学年ごとの学習で留まってしまい、教員間における学習内容の交流は、やや薄くなってしまった。今後は、職員会や打ち合わせ等の場を活用するなどして、学主内容や技術等の交流や共有を進めたい。
<input checked="" type="checkbox"/> 協力要請した外部機関との連絡体制や指導内容は良好/適切でしたか？ 【コメント欄】 ○事前に連絡を密に取り合ったことで、校外学習先においても現地の職員とスムーズに学習を進めることができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 学習内容や成果物が適切に活用される(見込み)がありますか？ 【コメント欄】 ○今年度作成したワークシートや児童の記録等は年度末に校内の共有フォルダへと保存をすることで、次年度も引き続き活用していけるような体制は取ることができている。児童も海洋科ファイルを購入し、ポータルフォルダとして積み重ねていく。
<input checked="" type="checkbox"/> 助成事業に対する地域や保護者からの理解は得られましたか？ 実施後に家庭や地域への知識や情報の広がりが見られますか？ 【コメント欄】 ○学校評価においても海洋学習に関わる評価は高く、子ども達と同様に保護者の関心も高めることができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 学習した内容を継続・応用する仕組みは考慮されていますか？ 【コメント欄】 ○来年度は本校の「総合的な学習の時間」や各教科の教育活動ともより密に連携を図り、教科横断的な学習活動となるようにより工夫改善を進めていきたい。
【効率性】 <input checked="" type="checkbox"/> 学習活動の実施時期は適切でしたか？ 【コメント欄】 ○学校行事との兼ね合いや季節気候を考慮した上で実施をすることができた。	【信頼性】 <input checked="" type="checkbox"/> 担当教員は学習内容について十分な知識・技術を有していましたか？ 【コメント欄】 ○専門的な技術や知識については、授業を行う事前の教材研究や外部講師との連携により補うことができた。今後は他学年の教員同士もその知識や技術を引き継ぎ、共有していけたらよい。
<input checked="" type="checkbox"/> 物資・資金・派遣講師(人員)の規模や質は適切でしたか？ 【コメント欄】 ○水質調査キッドの追加購入など、有意義に活用することができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施に当たり、十分な体制が整えられましたか？ (教員間連携、安全対策、チェック体制) 【コメント欄】 ○事前に職員会における校外学習内容の提案による職員間の周知、コロナ禍における感染対策はもちろんのこと現地での安全対策も十分に配慮した上で各学年の学習内容を進めることができた。
<input checked="" type="checkbox"/> 実施期間の設定は適切でしたか？(計画内容を設定期間内に終えることができましたか？) 【コメント欄】 ○コロナ禍ではあったものの、前期の早い段階で体験活動を計画・実施したため、校外で行う活動が実施できたことでまとめの活動までを終えることができた。	<input type="checkbox"/> 実施内容について外部公表・発信・共有していますか？ 【コメント欄】 ●学級・学年の活動としてはHP等によって発信したが、教育公表会や東大発表会というような外部機関への発信には至らなかった。今後は中学校など縦のつながりを意識した共有・交流の場を計画できたらよい。



その他コメント・感想

「海のゴミは川から流れ出したゴミがほとんどだったのか」6年生の学習では、実際に海へと赴き、海洋ゴミ問題の回収・分別活動を通して、海洋問題は決して自分たちから遠い問題ではないこと、自分たちにもできることはあることを実感を伴って理解することができた。

さらに、今年度は学習の流れやカリキュラムを見直し、各学年の学習内容を再考したことで、上記に挙げた6年生の海洋学習の出口に向かって、より段階的・発展的に海洋教育を進めることができたと考えている。

一方、教員間での学習の共有や次学年へのつながりを意識した探究的な学習過程の構築については弱さも見られた。来年度は以下の3点を重点改善事項として取り組んでいきたい。

- ①探究的な学習活動の流れや学年間のつながりを一層意識した海洋学習の展開。
- ②教員間における成果や獲得した知識や技術等の交流・共有を積極的に行う。
- ③自己の生き方や生活の中での取組までを考える出口の学習の工夫改善。

来年度からは「総合的な学習の時間」との兼ね合いの中でカリキュラムを進めていくことになるため、さらに学習内容を精査し、「海なし県」に住む児童にとって値打ちのある学習を展開していけたらと思う。